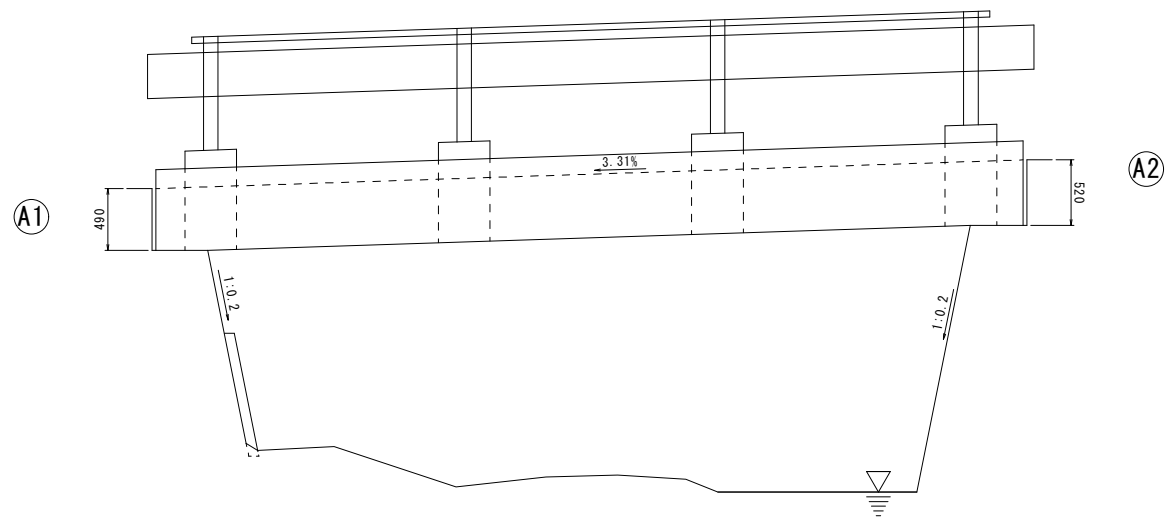
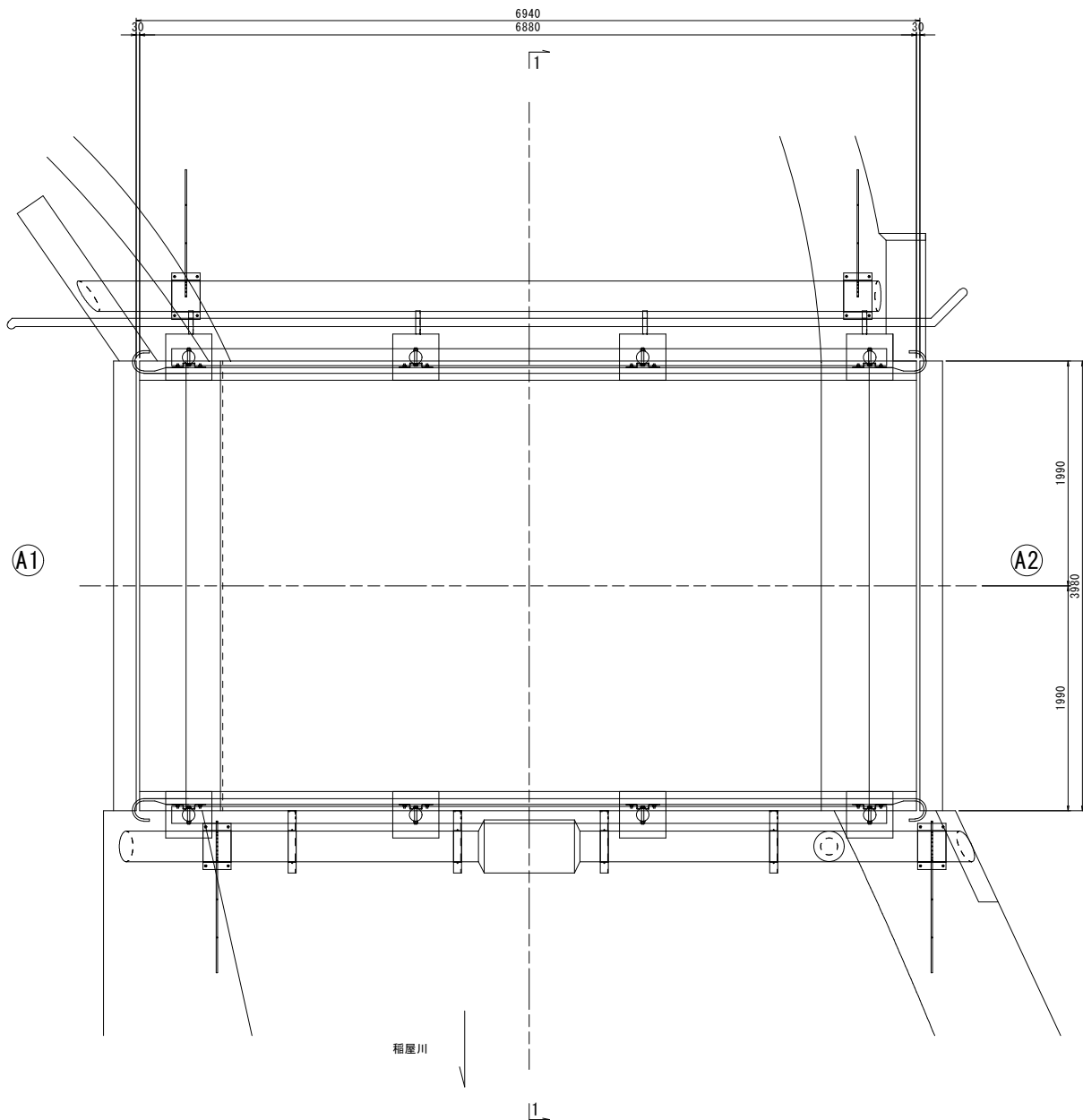


側面図 S = 1 : 30

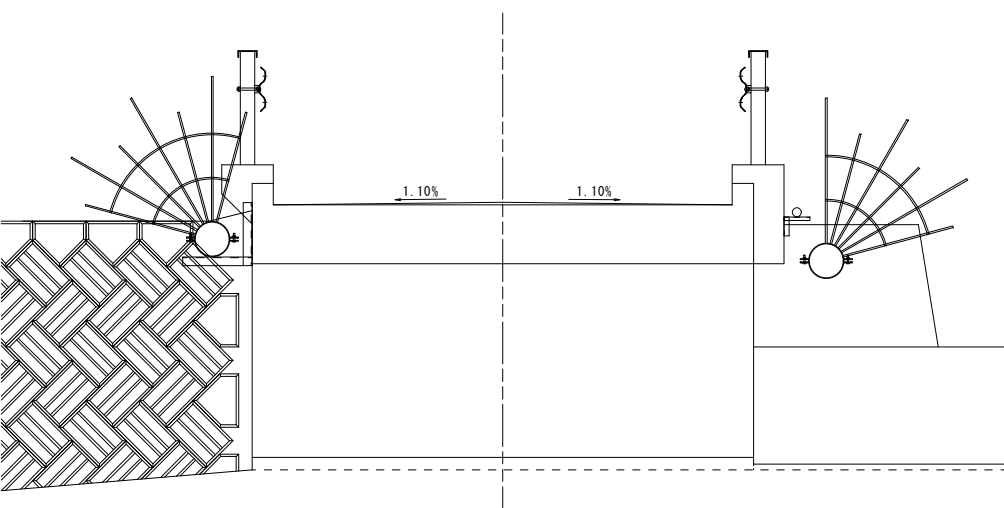
山本小橋 補修一般図



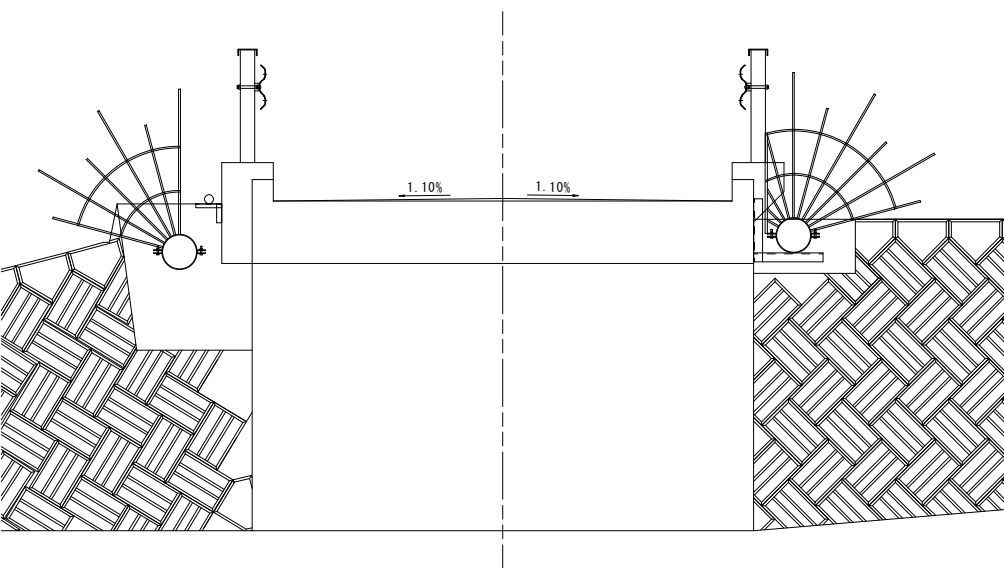
平面図 S = 1 : 30



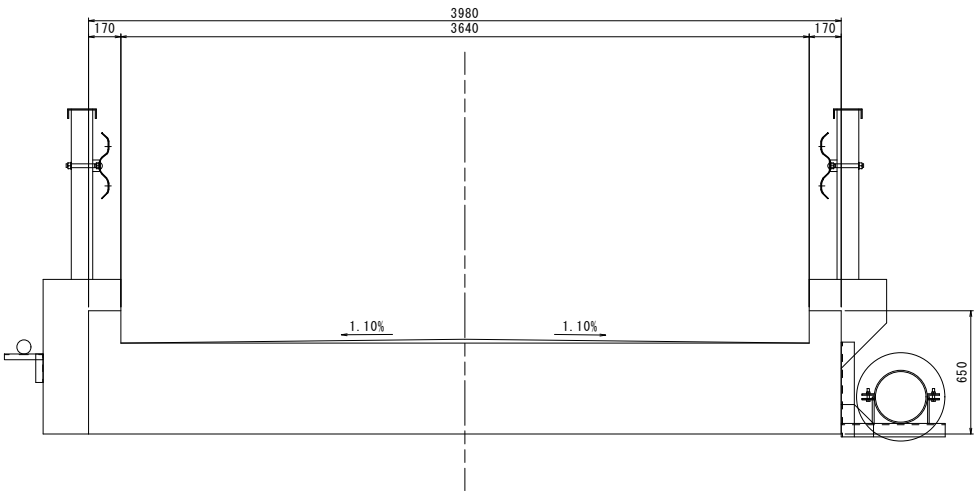
A 1 橋台正面図  
S = 1 : 30



A 2 橋台正面図  
S = 1 : 30



標準断面図 1 - 1  
S = 1 : 20



橋梁諸元  
橋梁名：山本小橋  
橋長：L=6.94m  
幅員：(地覆幅)0.17m+(車道幅)3.64m+(地覆幅)0.17m=3.98m  
上部工：RC橋  
下部工：重力式橋台  
路線名：小伊勢7号線  
交差河川：普通河川 稲屋川

令和 8 年度	
工事名	令和6年度 第29号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路線名	市道小伊勢7号線
箇所	輪島市 山本町外 地内
図面名	補修一般図
縮尺	図示
図面番号	1 / 10
輪 島 市	

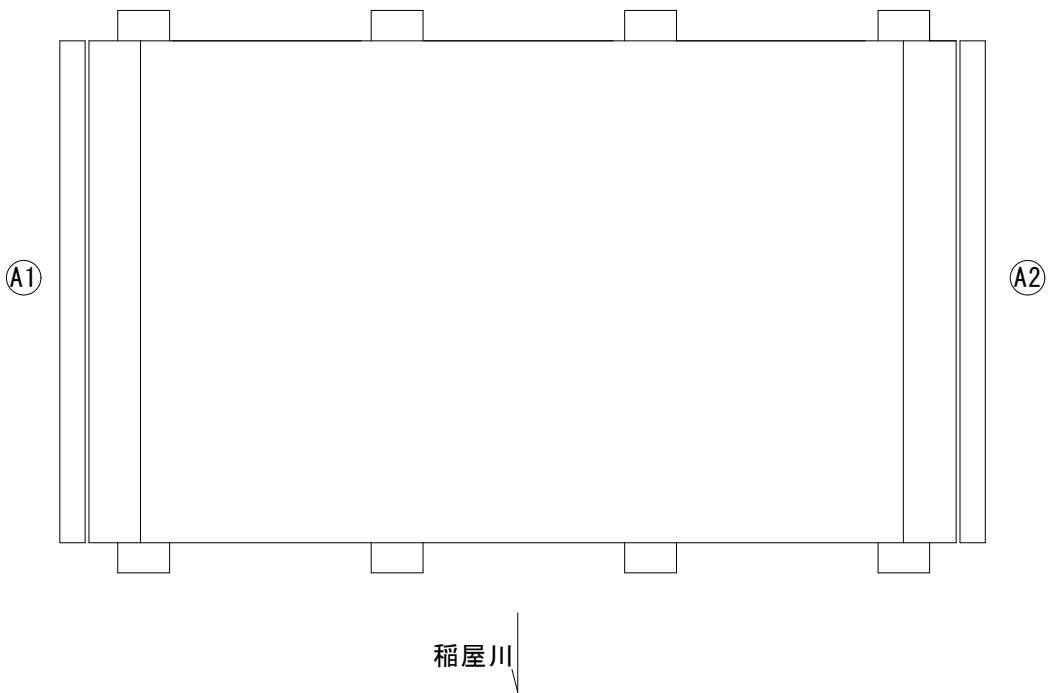
# 山本小橋 < 主桁 > 補修図

< 断面修復工(左官工法) >

【 凡 例 】

断面修復工(左官工法)

平 面 図 S = 1 : 30



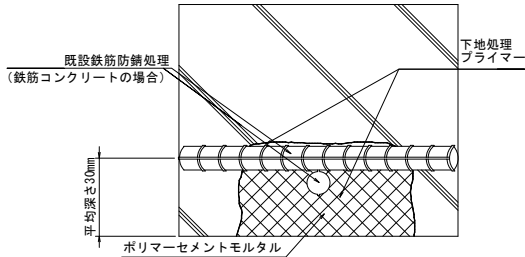
<< 断面修復工(左官工法) 数量 >>

番号	L (m)	W (m)	d (m)	体積 (m3)
《1》	0.25	0.10	0.03	0.0008
《2》	0.10	0.35	0.15	0.0053
合 計				0.0061

<< 断面修復工(左官工法) 材料 >>

1) ポリマーセメントモルタル  
0.0061 m3 × 1.18 = 0.01 m3  
※ ロス率を+0.18とする。

断面修復工(左官工法)詳細図



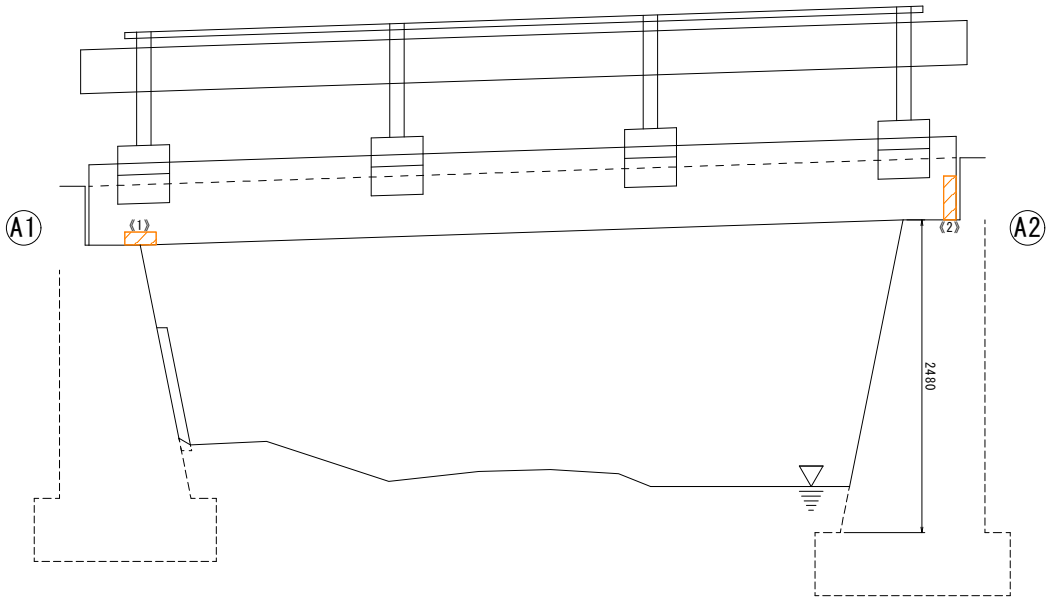
< 施工手順 > 断面修復工(左官工法)

1. 損傷範囲を確認する。
2. 補修範囲をはつる。
3. 鉄筋に腐食がある場合は錆を落とし防錆剤を塗布する。
4. はつり部分を清掃する。
5. はつり部分にプライマーを塗布する。
6. 補修材をコテ塗りし形状を復元する。
7. 養生する。

## 注記

- ・施工時に補修箇所の寸法を再度確認すること。
- ・フェザーエッジが発生しないように注意すること。
- ・コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
- ・重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- ・使用する材料については「表面保護工法 設計施工指針 (案) 工法別マニュアル編」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

側 面 図 (下 流 側) S = 1 : 30



1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度 第320号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道小伊勢7号線
箇 所	輪島市 山本町外 地内
図 面 名	主桁補修図
縮 尺	図 示
図面番号	2 / 10
輪 島 市	

山本小橋 < 下部工(A1橋台) > 補修図 その1

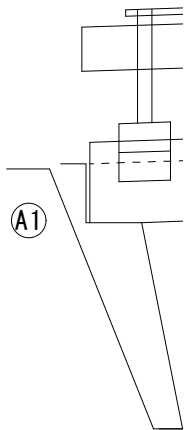
< 断面修復工(左官工法) >

【 凡 例 】

断面修復工(左官工法)

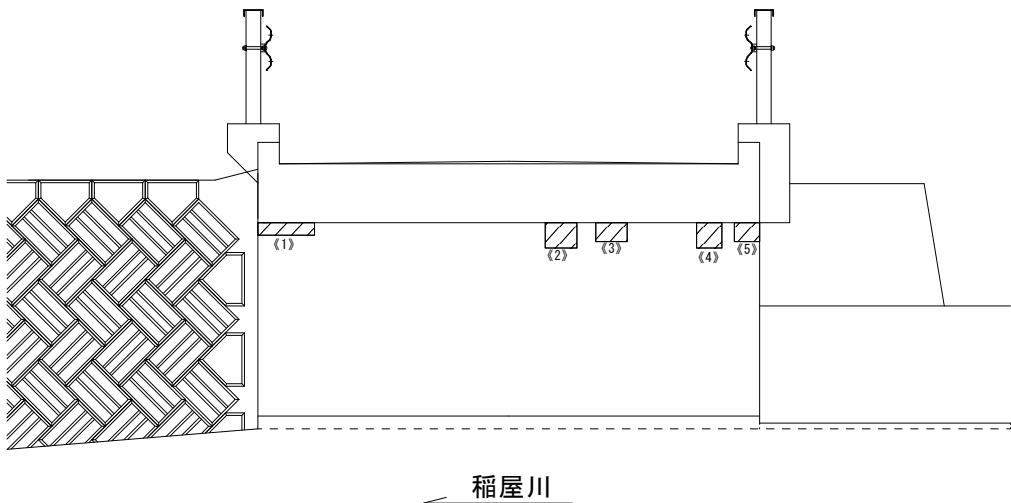
側 面 図 (下 流 側)

S = 1 : 30



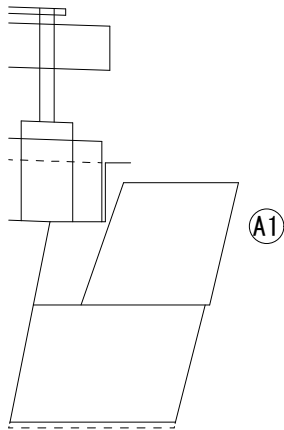
A 1 橋 台 正 面 図

S = 1 : 30



側 面 図 (上 流 側)

S = 1 : 30



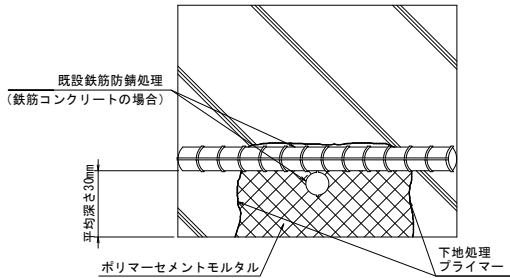
<< 断面修復工(左官工法) 数量 >>

番号	L (m)	W (m)	d (m)	体積 (m3)
《1》	0.45	0.10	0.03	0.0014
《2》	0.25	0.20	0.03	0.0015
《3》	0.25	0.15	0.04	0.0015
《4》	0.20	0.20	0.04	0.0016
《5》	0.20	0.15	0.04	0.0012
合 計				0.0072

<< 断面修復工(左官工法) 材料 >>

1) ポリマーセメントモルタル  
0.0072 m3 × 1.18 = 0.01 m3  
※ ロス率を+0.18とする。

断面修復工(左官工法)詳細図



< 施工手順 > 断面修復工(左官工法)

1. 損傷範囲を確認する。
2. 補修範囲をはつる。
3. 鉄筋に腐食がある場合は錆を落とし防錆剤を塗布する。
4. はつり部分を清掃する。
5. はつり部分にプライマーを塗布する。
6. 補修材をコテ塗りし形状を復元する。
7. 養生する。

注記

- ・施工時に補修箇所の寸法を再度確認すること。
- ・フェザーエッジが発生しないように注意すること。
- ・コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
- ・重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- ・使用する材料については「表面保護工法 設計施工指針(案) 工法別マニュアル編」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。


1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和6年度 要8020号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道小伊勢7号線
箇 所	輪 島 市 山本町外 地内
図 面 名	下部工補修図 (1)
縮 尺	図 示
図面番号	3 / 10
輪 島 市	

山本小橋 < 下部工(A2橋台) > 補修図 その2

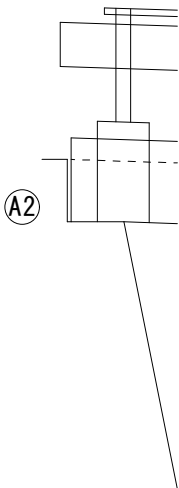
< 断面修復工(左官工法) >

【 凡 例 】

 断面修復工(左官工法)

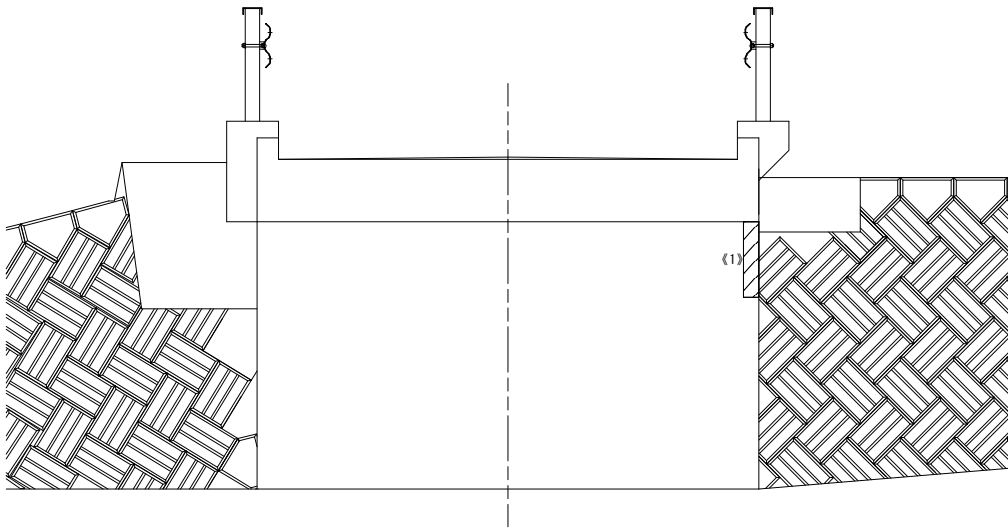
側 面 図 (上 流 側)

S = 1 : 30



A 2 橋 台 正 面 図

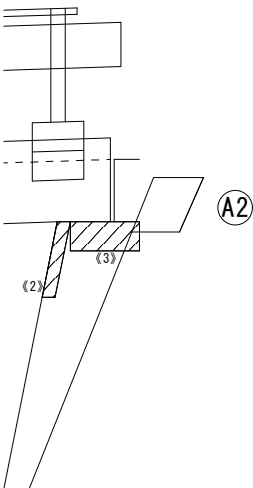
S = 1 : 30



稲屋川

側 面 図 (下 流 側)

S = 1 : 30



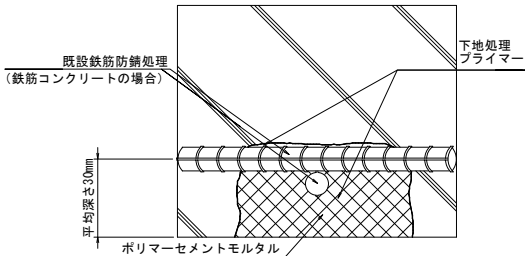
<< 断面修復工(左官工法) 数量 >>

番号	L (m)	W (m)	d (m)	体積 (m3)
《1》	0.12	0.60	0.03	0.0022
《2》	0.10	0.60	0.05	0.0030
《3》	0.55	0.23	0.10	0.0127
合 計				0.0179

<< 断面修復工(左官工法) 材料 >>

1) ポリマーセメントモルタル  
0.0179 m3 × 1.18 = 0.02 m3  
※ ロス率を+0.18とする。

断面修復工(左官工法) 詳細図



< 施工手順 > 断面修復工(左官工法)

1. 損傷範囲を確認する。
2. 補修範囲をはつる。
3. 鉄筋に腐食がある場合は錆を落とし防錆剤を塗布する。
4. はつり部分を清掃する。
5. はつり部分にプライマーを塗布する。
6. 補修材をコテ塗りし形状を復元する。
7. 養生する。

注記

- ・施工時に補修箇所の寸法を再度確認すること。
- ・フェザーエッジが発生しないように注意すること。
- ・コンクリートはつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
- ・重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- ・使用する材料については「表面保護工法 設計施工指針(案) 工法別マニュアル編」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

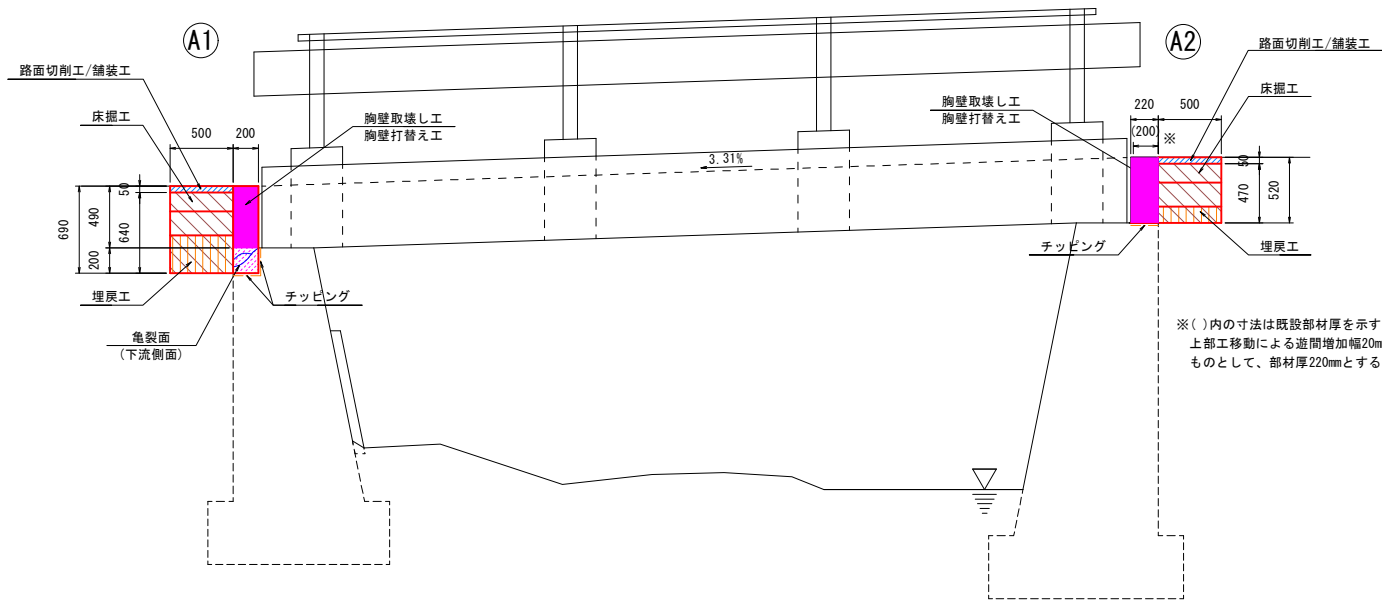
1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和5年度 第820号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道小伊勢7号線
箇 所	輪島市 山本町外 地内
図 面 名	下部工補修図 (2)
縮 尺	図 示
図面番号	4 / 10
輪 島 市	

# 山本小橋 < 下部工 (A1/A2橋台) > 補修図 その3

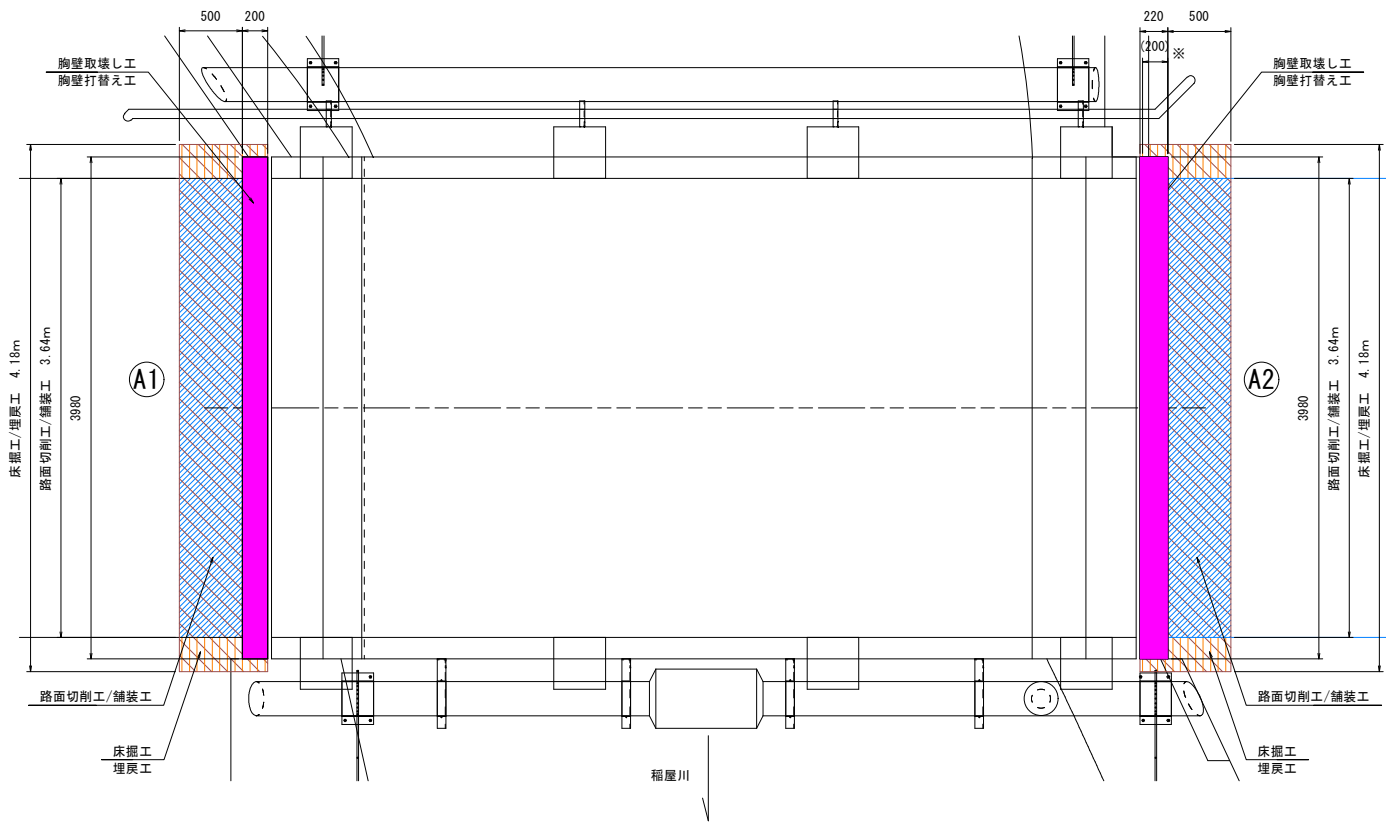
< パラペット打替え工 >

側面図 S = 1 : 30



※ A 1 橋台については、下流側面においてパラペット基部より15cm程度下部まで亀裂が確認されるため、安全側に全幅において橋座面より20cmまで打替えとする。  
施工時には背面の掘削において亀裂の状況を確認の上、適宜調整を行うものとする。

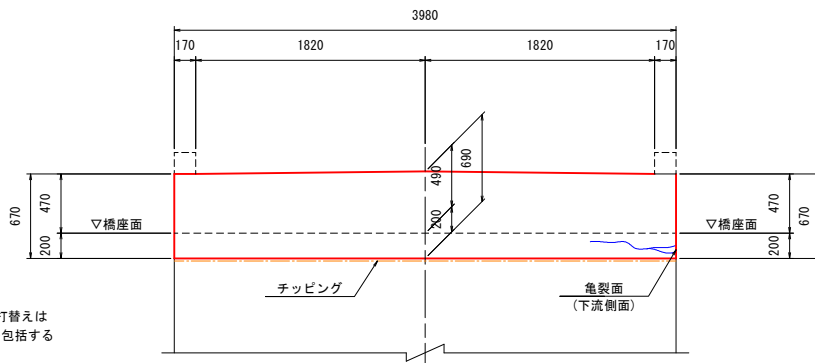
平面図 S = 1 : 30



※上下流共に管渠があり、パラペットに接する形でコンクリート壁で固定されているため、管渠部を壊さない様注意を行いながら、側面方向は構造物幅で直掘りて施工を行うこと。(コンクリート壁の位置図は巻末資料P70参照)

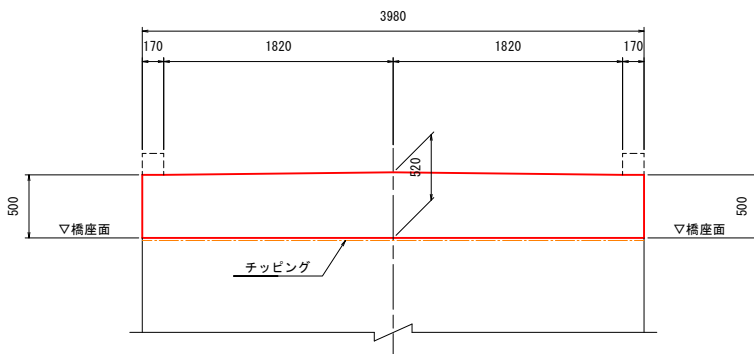
A 1 橋台正面図

S = 1 : 30



A 2 橋台正面図

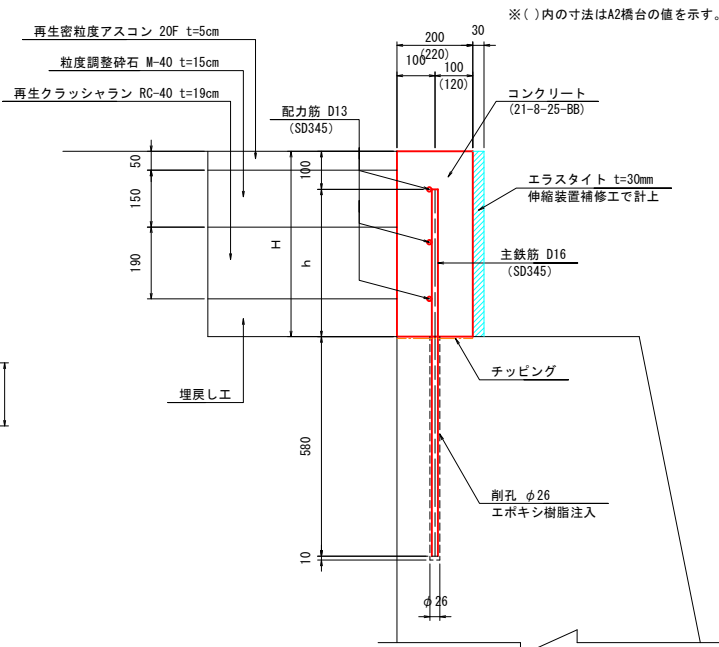
S = 1 : 30



【 凡 例 】

- 胸壁取壊し工/胸壁打替え工
- 床掘工
- 埋戻し工
- 路面切削工/舗装工
- チッピング

断面図 S = 1 : 10



※ ( ) 内の寸法はA2橋台の値を示す。

パラペット打替え工 数量表

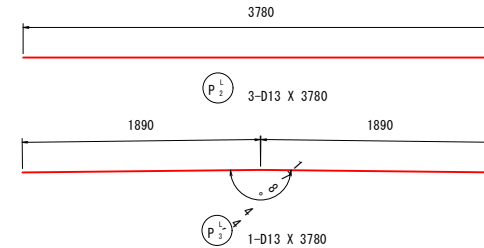
工 種	名 称	種 別	単位	A 1 橋台	A 2 橋台	合 計	備 考
作業土工	床 掘 工	土 砂	m <sup>2</sup>	1.3	1.0	2.3	
	埋戻し工	良質土	m <sup>2</sup>	0.7	0.4	1.1	
胸壁取壊し工	コクリット取壊し工	鉄筋コンクリート	m <sup>2</sup>	0.5	0.4	0.9	
	コクリット処処分	鉄筋コンクリート	m <sup>2</sup>	0.5	0.4	0.9	
胸壁打替え工	チッピング		m <sup>2</sup>	1.6	0.9	2.5	
	削 孔 工	φ 26, L=590mm	孔	17	17	34	
	充 填 工	エポキシ樹脂	kg	4	4	8	
	コンクリート工	21-8-25-BB	m <sup>2</sup>	0.5	0.4	0.9	
	型 枠 工		m <sup>2</sup>	3.0	2.3	5.3	
	鉄 筋 工	SD345	kg	46	38	84	
舗装工	舗装版切削工	カッター工 t=50mm	m	3.6	3.6	7.2	
	舗装版破砕工	t=50mm	m <sup>2</sup>	1.8	1.8	3.6	
	アスファルト処処分		m <sup>2</sup>	0.1	0.1	0.2	
	表 層 工	再生密粒度アスコン 20F t=5cm	m <sup>2</sup>	1.8	1.8	3.6	
	上層路盤工	粒度調整砕石 M-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.8	1.8	3.6	
	下層路盤工	再生クラッシャーラン RC-40 t=19cm	m <sup>2</sup>	1.8	1.8	3.6	

令和 8 年度	
工 事 名	令和(年度) 第820号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道小伊勢7号線
箇 所	輪島市 山本町外 地内
図 面 名	下部工補修図 (1)
縮 尺	図 示
図面番号	5 / 10
輪 島 市	

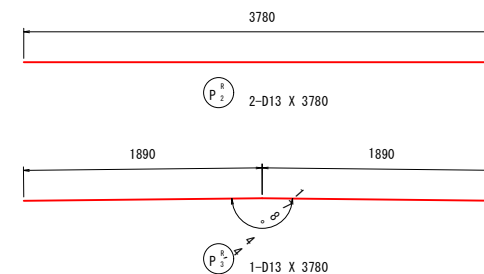
- 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分計測・把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
- 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

### ＜ パラペット打替え工 ＞

1 - 1



4 - 4



種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
P <sup>L</sup> <sub>1</sub>	D16	1160	17	1.56	1.81	31	(平均長)
P <sup>L</sup> <sub>2</sub>	D13	3780	3	0.995	3.76	11	—
P <sup>L</sup> <sub>3</sub>	D13	3780	1	0.995	3.76	4	—
						46	
合 計		D16		31 kg			
		D13		15 kg			
総質量				46 kg			

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
P <sup>R</sup> <sub>1</sub>	D16	990	17	1.56	1.54	26	(平均長)
P <sup>R</sup> <sub>2</sub>	D13	3780	2	0.995	3.76	8	—
P <sup>R</sup> <sub>3</sub>	D13	3780	1	0.995	3.76	4	—
						38	
合 計		D16		26 kg			
		D13		12 kg			
総質量				38 kg			

コンクリート(胸壁)	21-8-25-BB
鉄筋	SD345

- |         |  |
|---------|--|
| 令和 8 年度 |  |
| 工 事 名   | 令和6年災 第3420号外<br>市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事 |
| 路 線 名   | 市道小伊勢7号線                                 |
| 箇 所     | 輪 島 市 山本町外 地内                            |
| 図 面 名   | 下部工補修図 (2)                               |
| 縮 尺     | 図 示                                      |
| 図面番号    | 6 / 10                                   |
| 輪 島 市   |  |

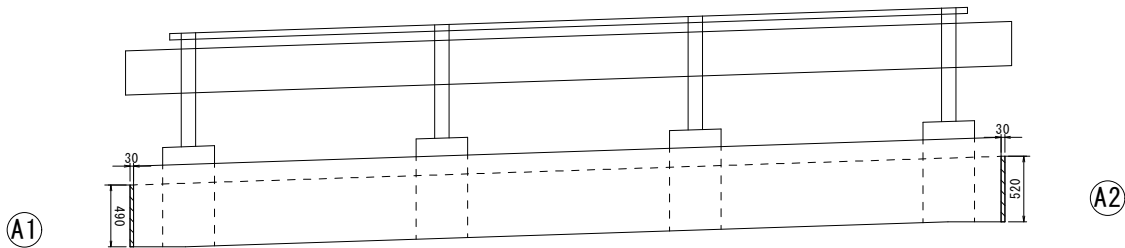
山本小橋 < 伸縮装置 > 補修図

< 伸縮装置補修工（撤去・復旧） >

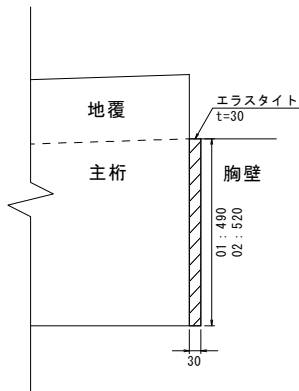
【 凡 例 】

伸縮装置補修工（撤去・復旧）

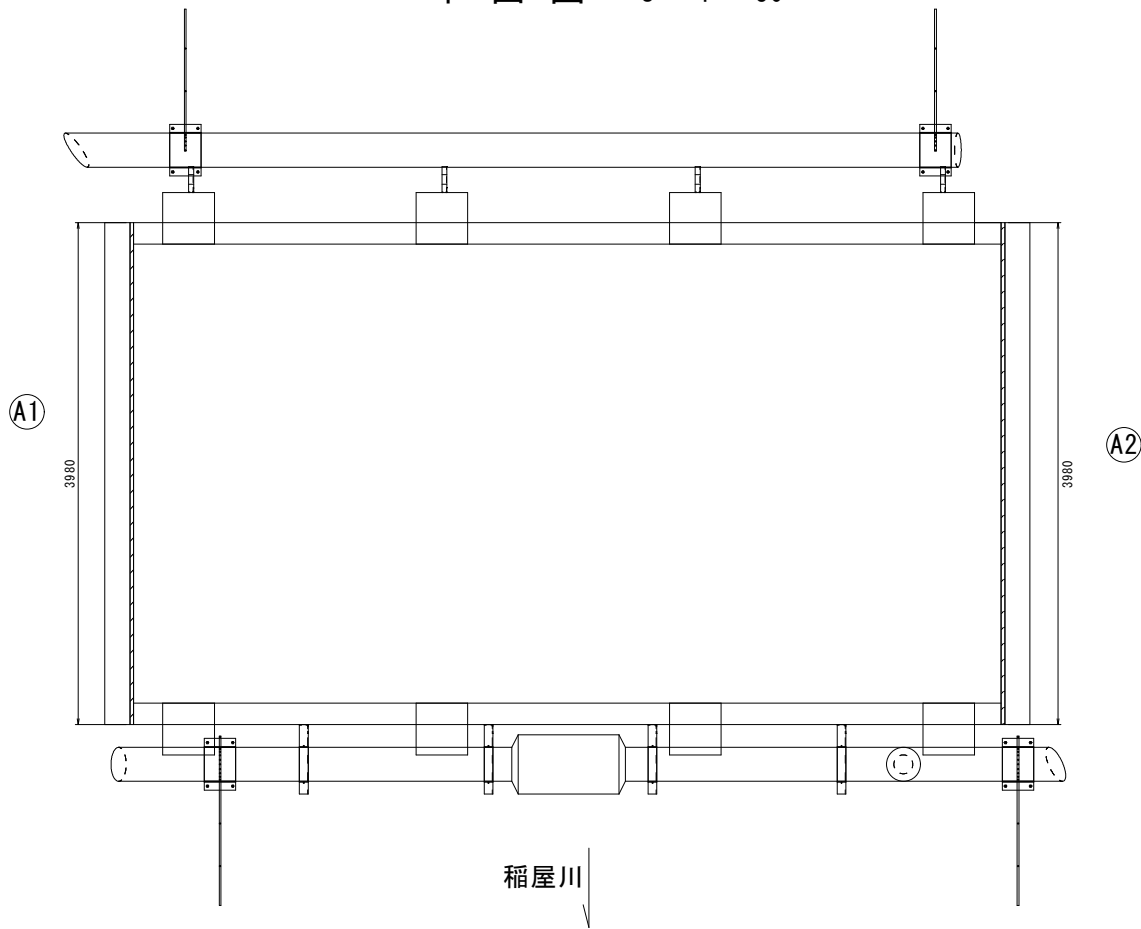
側 面 図 S = 1 : 30



標準断面図 S = 1 : 10



平 面 図 S = 1 : 30



<< 伸縮装置補修工 数量 >>

撤去・復旧

【伸縮装置01】 3.980 m

【伸縮装置02】 3.980 m

【合計】 3.980 m + 3.980 m = 7.960 m

<< 伸縮装置補修工 材料 >>

エラストイト ( t=30 )

【伸縮装置01】 3.980 m × 0.490 m = 2.0 m2

【伸縮装置02】 3.980 m × 0.520 m = 2.1 m2

【合計】 2.0 m2 + 2.1 m2 = 4.1 m2


令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第320号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道小伊勢7号線
箇 所	輪島市 山本町外 地内
図 面 名	伸縮装置 補修図
縮 尺	図 示
図面番号	7 / 10
輪 島 市	

1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

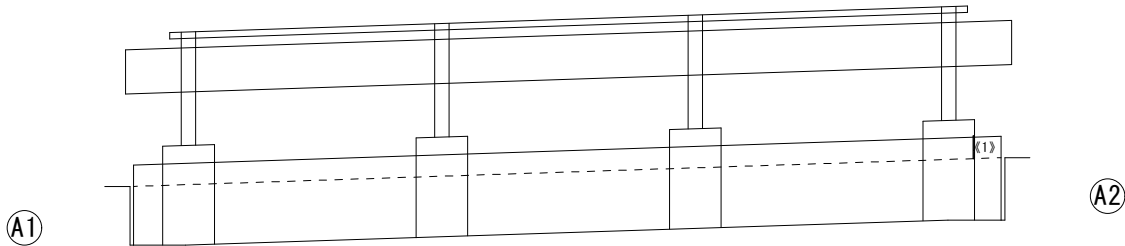
# 山本小橋 < 地覆 > 補修図

< 断面修復工(左官工法) >

【 凡 例 】

 断面修復工(左官工法)

展開図(上流側) S = 1 : 30



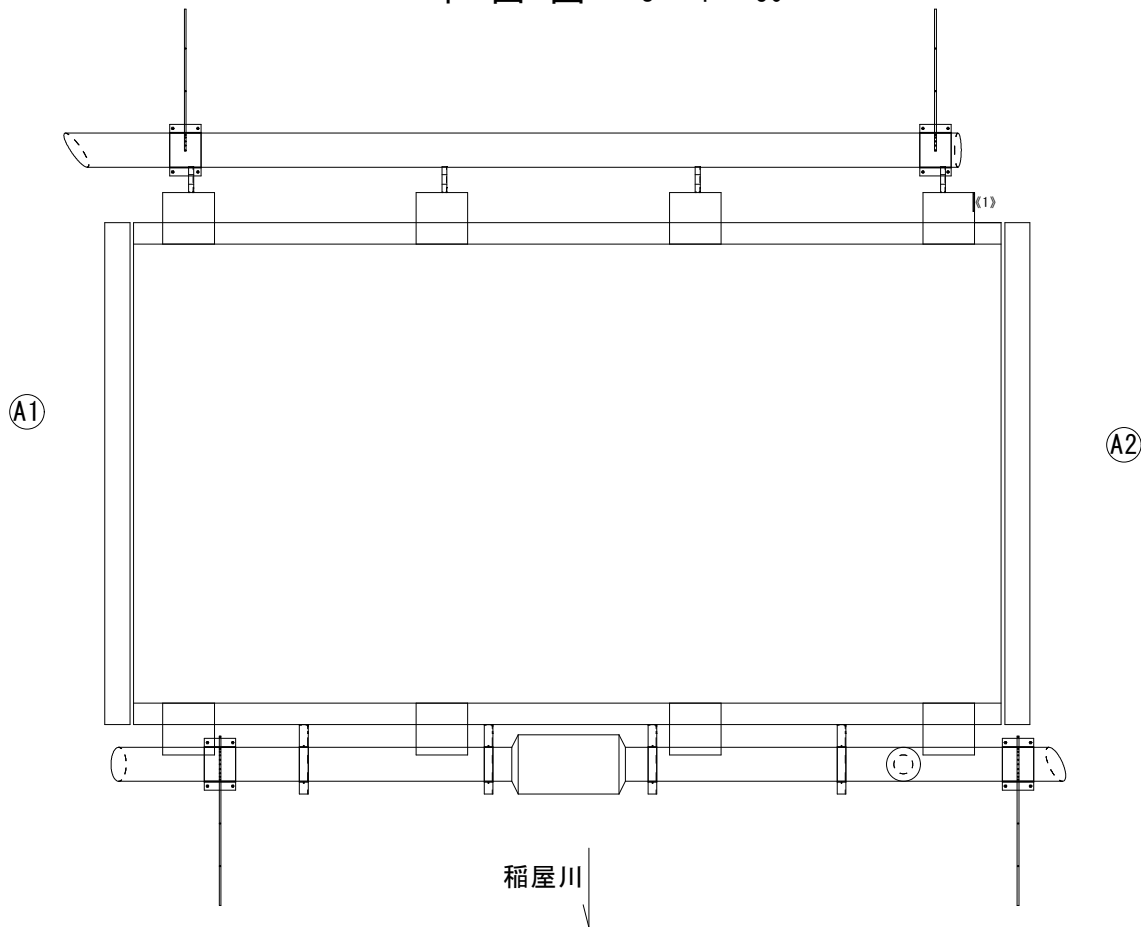
<< 断面修復工(左官工法) 数量 >>

番号	L (m)	W (m)	d (m)	体積 (m3)
《1》	0.15	0.18	0.03	0.0008
合 計				0.0008

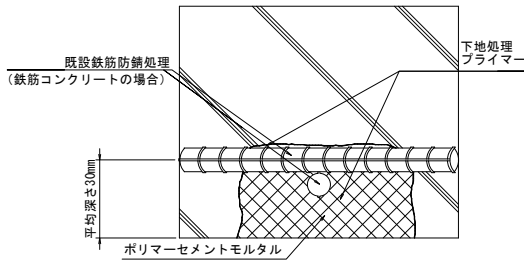
<< 断面修復工(左官工法) 材料 >>

1) ポリマーセメントモルタル  
0.0008 m3 × 1.18 = 0.01 m3  
※ ロス率を+0.18とする。

平面図 S = 1 : 30



断面修復工(左官工法)詳細図



< 施工手順 > 断面修復工(左官工法)

1. 損傷範囲を確認する。
2. 補修範囲をはつる。
3. 鉄筋に腐食がある場合は錆を落とし防錆剤を塗布する。
4. はつり部分を清掃する。
5. はつり部分にプライマーを塗布する。
6. 補修材をコテ塗りし形状を復元する。
7. 養生する。

注記

- ・施工時に補修箇所の寸法を再度確認すること。
- ・フェザーエッジが発生しないように注意すること。
- ・コンクリートははつり部分の既設鉄筋には防錆処理を行うこと。
- ・重ね塗りを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- ・使用する材料については「表面保護工法 設計施工指針(案) 工法別マニュアル編」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

1. 図中の補修計画は、「既存点検データ」、「現地踏査」等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
2. 施工数量については、現地再確認を行った上、監督職員の承諾を得て決定すること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度 第320号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道小伊勢7号線
箇 所	輪島市 山本町外 地内
図 面 名	地覆補修図
縮 尺	図 示
図面番号	8 / 10
輪 島 市	



S=1:30 (A1)  
S=1:60 (A3)

橋梁名称（カナ）	駒田橋（マエダバシ）
路線名	市道 釜屋谷1号線
架橋条件	普通河川 小加勢川
上部工形式	単純RC床版橋
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	直接基礎
橋長	L=4.00m
幅員構成	B=全幅員2.90m(地阻)0.15m+有効幅員2.60m(地阻0.15m)
斜角	右57°00'
設計活荷重	不明
架橋年月	1960年（昭和35年）4月
示方書・要領等	不明
添架物	無し
附属物	無し

補修工一覽

補修工	詳細事項	施工数量	対象部材
橋台ひびわれ注入工	施工打継目の開口（幅W=3.0mm）に適用。自動低圧注入工法 縦方向の注入材：エポキシ樹脂注入材（1種）、水平方向の注入材：超微粒子ポリマーセメント系注入材	L= 4.10m	AI橋台壁壁
橋台断面修復工	左官工法、修復材ポリマーセメントモルタル	V= 0.035m <sup>3</sup>	AI橋台壁壁

※ 補修工の詳細は補修計画図を参照。

令和8年度	
工 事 名	令和6年度 第920号外 市道小伊勢7号線 山本橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 釜屋谷1号線
箇 所	輪島市 山本町外 地内
図 名	前田橋 橋梁（補修）一般図
縮 尺	図 示
図面番号	9 / 10
輪 島 市	

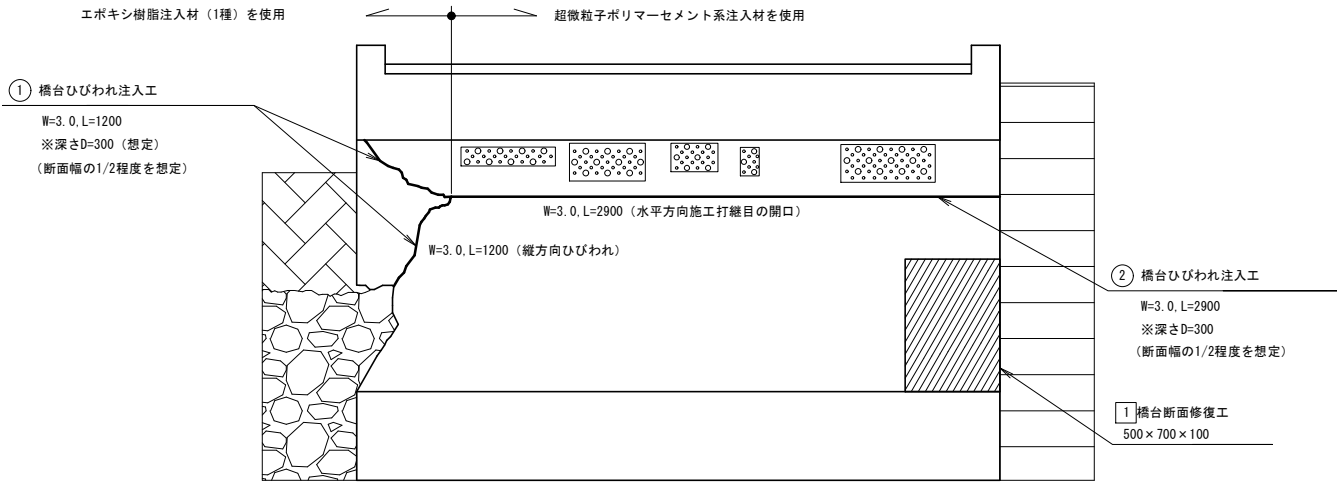
凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		腐食	
うき剥離		豆板・空洞	
鉄筋露出		変形欠損	
漏水 滯水		遊離石灰	

前田橋 補修計画図

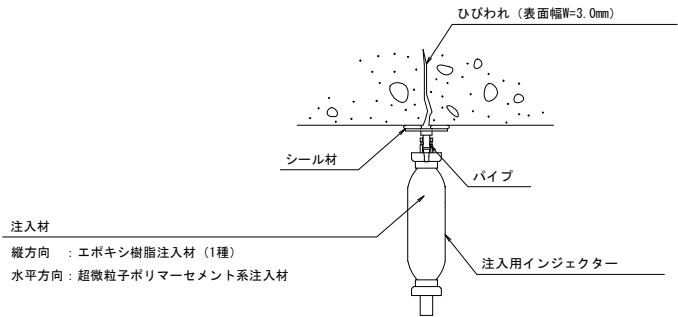
A1橋台正面図

S=1:20 (A1)  
S=1:40 (A3)



小加勢川

橋台ひびわれ注入工詳細図

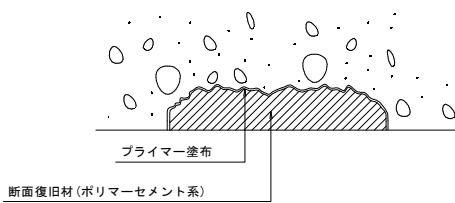


- 注記
- 縦方向にはエポキシ樹脂注入材（1種）を使用し、水平方向には超微粒子ポリマーセメント系注入材を使用する。
  - 注入材料は「注入材性能表」に示す性能を満足すること。
  - 施工は自動式低圧樹脂注入工法とし、低圧注入器具の設置間隔は30cm程度とする。
  - 施工時にひびわれ注入箇所を再度確認すること。
  - 超微粒子ポリマーセメント系注入材を使用する水平方向の施工打継目の開口は、内部が乾燥している場合にはドライアウト現象による未充填の発生を防ぐため、先行水を注入し開口内部を湿潤状態にしてから注入すること。
  - ひびわれ深さは想定であり、注入材の実数量は施工後に監督員と協議し決定するものとする。

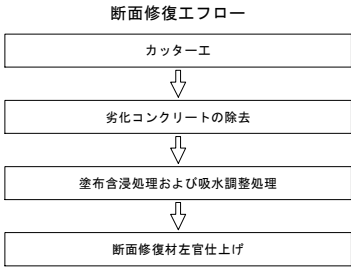
橋台ひびわれ注入工 集計表

番号	部材名	W(mm)	L(m)	箇所数(本)	延長(m)	D(m)	V(m <sup>3</sup> )	使用注入材
①	A1堅壁	3.0	1.20	1	1.20	0.300	0.00108	エポキシ樹脂注入材（1種）
②	A1堅壁	3.0	2.90	1	2.90	0.300	0.00261	超微粒子ポリマーセメント系注入材
合 計					4.10		0.00369	

橋台断面修復工詳細図



- 注記
- 劣化コンクリートをはつとり、脆弱部は全て除去した上で断面修復を行う。
  - 修復材料は「断面修復材性能表」に示す性能を満足すること。
  - はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないように注意すること。
  - 施工時に、補修箇所（寸法等）を再度確認すること。
  - 修復材は十分硬化した上で次層を塗り重ねること。



断面修復材性能表		材料の種類	ポリマーセメントモルタル
断面の修復に要する性能	硬化時間		断面修復材の固化時間は1時間以上であること
	断面修復材料の外観（塗装無し）	温冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、割れ・剥がれ・膨れのないこと
	硬化収縮性	—	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること 硬化にもなう発熱により反りかえりが無いこと
	熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は2.0×10 <sup>-6</sup> /℃以下であること
	コンクリートとの付着性	湿潤時 耐アルカリ性試験後 温冷繰り返し試験後	コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm <sup>2</sup> 以上であること
	塗装との付着性	温冷繰り返し試験後	塗装と断面修復材との付着強度は1.0N/mm <sup>2</sup> 以上であること
力学的性能		圧縮強度	母材コンクリートの設計基準強度16N/mm <sup>2</sup> 以上であること

橋台断面修復工 集計表

番号	損傷種類	部材名	W(m)	L(m)	D(m)	V(m <sup>3</sup> )
①	欠損	A1堅壁	0.50	0.70	0.10	0.035
合 計						0.035

縦方向エポキシ樹脂注入材性能表

項 目	材料の種類	土木補修用エポキシ樹脂注入材1種
ひび割れ進行度区分		B(ひび割れの進行が止まった)
ひび割れ幅(mm)		0.2 ～ 5.0
粘度(mPa・s)		10000以下
可使時間(分)		30以上
硬化時間(時間)		16以内
硬化収縮(%)		0.1以下
伸び率(%)		—
モルタル付着強さ [乾燥面](N/mm <sup>2</sup> )		6以上
付着力耐久性保持率 [規格に対する百分率] (%)		60以上

※日本コンクリート工学会コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針2022 P124より

水平方向超微粒子ポリマーセメント系注入材性能表

要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (16.0N/mm <sup>2</sup> 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm <sup>2</sup> 以上)

令和8年度	
工 事 名	令和6年度 第2次20号外 市道小伊勢7号線 山本小橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 釜屋谷1号線
箇 所	輪島市 山本町外 地内
図 名	前田橋 補修計画図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	10 / 10
輪 島 市	